

上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第 17 号 (文責: 校長 五十嵐貴子)
令和 5 年 1 月 10 日発行



まっています。3年生の挑戦と勇気をみんなで支え、新たな道を拓いていく姿を見守りたいと思います。同時に、そのバトンをしっかりと引き継ぎ、今年度の上中ライフの1ページをみんなでしっかり締めくくりたいと思います。3学期も、頑張る上中を、どうぞよろしくお願いいたします。



3学期 始業式

「令和」という言葉は、日本最古の歌集「万葉集」の歌に由来します。万葉集は「日本が持つ四季折々の自然や文化を、後世に残したい」という思いで作られた歌集です。その中にこんな歌があります。

初春令月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香
(初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す)

「令月」とは「何事をするのも良い月、めでたい月」であり、「令」の文字には、立派、清らか、神のお告げなどの意味もあるそうです。「和」という文字は元号でよく使われており、令和を含めると、これまで20回も元号に採用されているそうです。

「和」の文字の意味は、やわらく、おだやか、なごやかなどがあり、平和で優しい印象が特徴的です。

「仲良くなる」という意味もあるそうです。春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に、一人ひとりが大きく花を咲かせる日本でありたい。そうした思いのこもった「令和」の時代が、5年目を迎えるというわけです。

この4年の間に、新型コロナウイルスという病気が生まれ、不自由を迫られました。学校では一人

新年 おめでとうございます。

令和5年のお正月を迎えました。雲一つない青空、ピリリとした空気にやわらかい陽ざしが降り注いで、穏やかな新年の始まりとなりました。

今日から3学期です。1月は「今を大切に」、2月は「にこやかに笑顔で」、3月は「最高の時間を過ごす」3学期にしたいと思います。(3年生の沓真くんに教えられました) きっとあつという間の3学期ですが、中学校では大事な行事が続きます。なんといっても3年生の進路を決める受験が、すでに始

一台タブレットを使うようになりました。核やミサイルの危機が迫り、戦争も終わりません。私たちの生活は急激に変化し、新しい技術やAIの力をいろいろな場面で感じます。

With コロナの時代となった令和5年も、きっと想像以上に変化していくでしょう。そんな中で、上中ライフは時代に対応しながらも、「令和」という言葉に込められた願いのごとく「四季折々の自然や文化を後世に残しつつ、明日への希望と共に、一人ひとりが大きく花を咲かせる上中」でありたいと思います。希望と勇気が膨らむような明るく、楽しく充実した1年になることを願います。

そのためには、私たち自身が、夢をもって元気に、仲間と共に豊かに歩んでいかなくてはなりません。みんなで協成しながら、兎のようにしっかり足を踏ん張り、大地を力強く蹴って、大きく、高く、遠くまで、ジャンプする年にしたいと思います。

